

「環境空間情報に関する自主研究」—平成 15 年度の受講者の研究課題

鉄道乗客の行動特性。特に乗客が降りる前に、何か共通な兆候はないだろうか？

方向感を主とした経路選択の要因についての地図上からの分析

高齢者の移動特性について～地蔵通り商店街を事例として～

内部、外部の要素から見た線状空地の人気、魅力に関する研究

鉄道通勤時のアクティビティ

丸ビルアトリウムにおける行為分析

SoundMap@HongoCampus

高齢者の歩行挙動～ザ・シニアウォーキング～

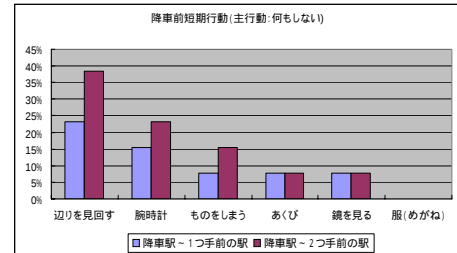
空間情報の活用における virtual reality に対する意識調査

エレベーター利用者調査

通学時の自転車選択に関する基礎的研究

データ分析: 4.降車前行動分析

4-2.降車前短期行動分析 :主行動 何もしない の場合



・「辺りを見回す」行動が1つ手前の駅までで23%、2つ手前の駅までで38%の乗客に見られる。しかし、もともと何もしていない人は、いつも暇つぶしにきよきよする傾向があるので、降りる前の兆候になるとはいいがたい。

2003/7/16

分析手法

■ 要因の設定

各ノードにおいて選択可能な道に関して、

W:道幅

Θ:目的地に対する道の方向

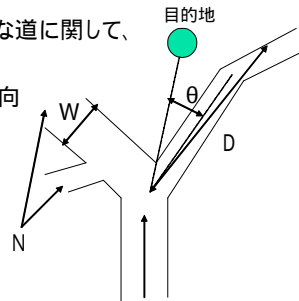
D:見通し(見渡せる距離)

N:その道を進むことで

さらに選択できる道の数の

4つの要因を設定

(地図上から計測)



来街者の行動範囲



来街者の大半は、上図の赤い線の部分を行動する



・Piazza Navona
・LeninplatzとUntermarkt
・Hauptmarkt, SchlossparkとMunzerplatz

Piazza Navona
Rome

context いびつで不整形、小粒
contents 噴水、勾配等によって長軸が強調されている

長く視界が開ける場所性が周りの街区と対象をなす

環境空間情報学 鉄道通勤時のアクティビティ 佐久

実態調査 B

B. 列車内で乗客を観察

小田急サポート号(6/25 6:30町田発)

